

表面含浸材性能検証-（自社）

透水量試験-塗布後耐熱性

（塗布後アスファルト舗装を施工する場合の影響確認）

Osmo-xp

株式会社リナック八千代

透水量試験報告書

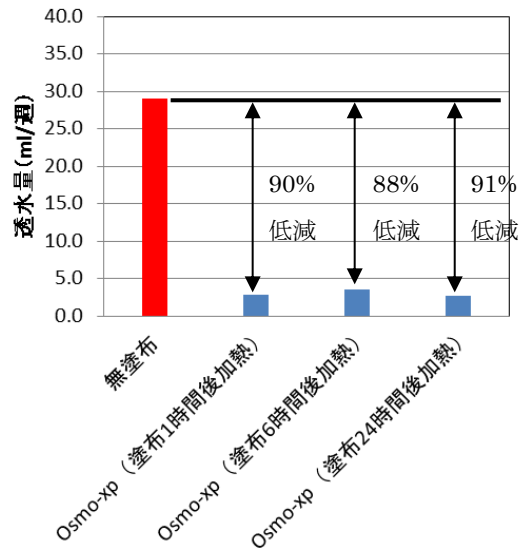
名 称	けい酸系ナトリウム 反応型コンクリート表面含浸材「Osmo-xp」								
試験概要	Osmo-xp 塗布後、アスファルト舗装を施す際の表面加熱に対する影響を透水量試験により確認。『透水量試験＝けい酸塩系表面含浸工法の設計施工指針(案) JSCE-K572-2012 準拠』								
試験体	基板 : コンクリート基板 普通ポルドランドセメント使用 配合 : 水セメント比 (W/C) = 50% 寸法 : 角柱 100×100×400 mm								
試験方法	透水量試験については現場透水量試験器-Osmo 施工効果確認器材 (NETIS 登録番号=HK-120006-A (掲載終了技術)、実用新案登録=第 3172025 号) を用い、試験 (1 週間計測) を行った。								
試験方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>壁用 水平部用</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>								
塗 布	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 30%;">塗布量</th> <th style="width: 50%;">塗布方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Osmo-xp</td> <td>原液 400g/m²</td> <td>原液 200g/m²を 2 回塗布</td> </tr> </tbody> </table>				塗布量	塗布方法	Osmo-xp	原液 400g/m ²	原液 200g/m ² を 2 回塗布
	塗布量	塗布方法							
Osmo-xp	原液 400g/m ²	原液 200g/m ² を 2 回塗布							
試験体状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 50%;">写真</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Osmo-xp 塗布後、塗布面を約 1 時間、6 時間、24 時間でガスバーナーによる表面加熱</td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td>加熱温度は 140℃～200℃で約 10 分間加熱 (無塗布も表面を加熱し、同条件とした)</td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> </tbody> </table>			項目	写真	Osmo-xp 塗布後、塗布面を約 1 時間、6 時間、24 時間でガスバーナーによる表面加熱		加熱温度は 140℃～200℃で約 10 分間加熱 (無塗布も表面を加熱し、同条件とした)	
項目	写真								
Osmo-xp 塗布後、塗布面を約 1 時間、6 時間、24 時間でガスバーナーによる表面加熱									
加熱温度は 140℃～200℃で約 10 分間加熱 (無塗布も表面を加熱し、同条件とした)									

加熱後は7日間気中養生し、透水量試験を実施。

測定結果

	透水量 (ml/週)	透水比
無塗布	29.0	100%
Osmo-xp (塗布 1 時間後加熱)	2.9	10%
Osmo-xp (塗布 6 時間後加熱)	3.5	12%
Osmo-xp (塗布 24 時間後加熱)	2.7	9%

測定結果



透水量グラフ

試験結果

Osmo-xp 塗布後、ガスバーナーによる表面加熱（1 時間、6 時間、24 時間）後において、いずれも無塗布試験体の約 90%低減と高い遮水効果が確認された。

見解

Osmo-xp 塗布後、薬剤が浸透しきった状態で舗装材を施す際の表面加熱に対する影響はないと考えられる。しかし、塗布後洗浄不足において表面加熱を行うと白化が見られたことから、洗浄に注意が必要である。



以上